

— 睡眠時無呼吸症候群(SAS)の簡易検査について —

- 眠っている間に呼吸が止まっている状態が長い人を睡眠時無呼吸症候群といいます。
- 熟睡できないことにより、日中ぼーっとしたり集中できなくなったりします。また心臓疾患、高血圧、動脈硬化症などに関連がありことがわかっています。
- ご家族から、寝ているときの「いびきが大きい」とか、「時々息が止まっている」とか、「息を苦しそうにしている」と指摘された方は本疾患の可能性があります。
一晩睡眠中に、手と鼻にモニターを付けていただくだけで評価できます。

下図のように、鼻の下に「気流計測センサー」、手指に「動脈血酸素飽和度測定装置」を装着し、一晩寝ていただきます。翌朝起床後に装置をはずしていただき、送っていただきます。

1週間程度で結果がでますので、クリニックで結果を説明させていただきます。

大変簡単な検査ですので、いびきを指摘された中高年の方は是非一度チェックされてはいかがでしょうか。(保険診療です。)

